



森 喜人

## 自殺は自由意志で無く、強制された死か

市長＝社会全体での取り組みが必要

市長

残念ながら14年から16年まで毎年15人の自殺死亡者があり、平成17年は17人に増え、平成18・19年と7人ずつに減ったが、平成20年に再び16人に増えて、国県の平均を超えている。自殺対策基本法第2条の基本理念にあるように、自殺は背景に様々な社会的要因があつて追いつまされた結果であり、個人を囲む社会に問題がある。本人のメンタルヘルスは勿論、周囲の気遣いや寄り添いが大切で、ネットワークを組んで少しでも命のサポートをしていくことが大切である。自殺対策白書には、「周りの人の悩みに気づき、耳を傾ける」「早めに専門家に相談するよう促す」「温かく寄り添いながらじっくり見守る」の三つのポイントを示している。今年度新たに自殺予防対策協議会を設置し取り組む。

県立八百津高校の成功例のように、県立だが「郡上市の市立北高校」という取り組みが必要であり、もっと県に地元の要望をすべきである。白鳥中学校と郡上北高校との「連携型中高一貫教育」は万能ではなく、取り組み次第だと思つた

### 教育長

1、具体的連携

中高6年間の系統的教育や活動。各種検定への挑戦。生徒会の交流、合同企画による活動。系統的進路指導。教員の人事交流。

2、地域の子どもは地域で育てること

職場体験や地域活動への参加。合同活動公開。活動チラシ作り。

3、特色ある教育等

2月臨時議会

平成22年2月15日

## 平成21年一般会計補正予算可決 地域活性化・きめ細やかな臨時交付金

平成21年度 国の第2次補正予算において臨時交付金が創設され、生活の安全確保に関する事業予算案 5億6412万6千円が全会一致で可決された。また、事業推進については、地元の中小企業・零細事業者の受注に努め、積極的に地域活性化等に取り組むこととされている。

○道路・橋梁の建設又は修繕

3億850万円

○幼稚園・学校・図書館・公民館等の建設又は修繕

○河川砂防の建設又は修繕

8410万円

○保育所・老人福祉施設等の社会福祉施設建設又は修繕

○下水道・排水路の建設又は修繕

640万円

○病院・診療所等の医療施設の建設又は修繕

○水道の建設又は修繕

2640万円

○病院・診療所等の医療施設の建設又は修繕

○公園・緑地・広場の建設又は修繕

1980万円

○庁舎等の公用施設（建築物）の建設又は修繕

○農道・水路・林道等の建設又は修繕

1756万8千円

○その他の公用施設（建築物）の建設又は修繕

○その他の公共施設又は公用施設（建物以外）建設又は修繕

1580万2千円

○その他の公共施設又は公用施設（建築物）の建設又は修繕

1042万8千円